

実質賃金は下がり続け、物価高も重なり、私たちの生活は苦しくなる一方です。その原因は、低賃金で不安定な非正規雇用を拡大し、正社員には長時間労働をもたらす裁量労働制の拡大など、財界・大企業の目先の利益優先にはする自民党政治にあります。

日本を賃金の上がらない国にした政治、労働法制の規制緩和で労働者の生活と権利を奪ってきた政治をもとから変え、賃上げと労働時間の短縮を実現させましょう。

倉林 明子

人間らしく暮らせる賃金へ

労働基準法の大改悪阻止！

労働時間の短縮こそ

◆ これ、やります ◆

全国一律最低賃金制度を実現し、今すぐ 1500 円、さらなる引き上げを目指します。

非正規ワーカーの安定雇用を実現し、非正規を理由とした賃金・労働条件の差別を是正します。

低く抑え込まれてきた女性の賃金を引き上げて男女賃金格差を是正します。

1 日 7 時間、週 35 時間労働を実現します。

日本共産党
参議院議員

京都選挙区

倉林明子

Activity Report
働き方 Ver



はたやま和也
元衆議院議員



小池晃
参議院議員



井上さとし
参議院議員



山下よしき
参議院議員



白川よう子
元香川県議

比例は日本共産党

労働者の いのちとくらし 雇用を守る

コロナ禍の雇用対策と支援

雇調金の上限額の引き上げや、休業手当を受け取れない労働者に政府が直接補償する制度を要求。上限額の1万5000円への引き上げや、休業支援金制度の創設につながりました。

臨時休校の対応で休んだ保護者に対する助成金の拡充、支援金制度の創設を実現。さらに、子の看護休暇制度について、上限日数の引き上げなど拡充を要求。2024年の法改正で一部拡充されました。

自治体職員のいのちを守れ

コロナ禍の保健所で、過労死ラインを超える残業が恒常化。自治体職員のいのちと健康を守るために、災害等の場合に青天井の時間外勤務や休日出勤を可能とする労基法33条の見直しを迫りました。

高齢者が 安心して働ける環境整備を

高齢者の就業率が高い要因は、働かなければ生活できない低年金にあると指摘し、最低保障年金制度の創設と働きたい高齢者が安心して働ける就業環境の整備を求めました。

60歳以降も働き続けたい労働者に対し、60歳での退職か、58歳で事実上定年退職し、低賃金の継続雇用制度へ移行するかの選択を迫る実態を告発。継続雇用制度を利用した一方的な労働条件の不利益変更だと批判しました。

非正規公務員の安定雇用に一歩

国や自治体で働く非正規公務員の約8割が女性です。女性の賃金を低く抑え、仕事が評価されずに女性の尊厳を奪っていると厳しく指摘。また、3年ごとに公募し雇止めを可能にする制度をやめ、安定雇用と処遇改善を行うよう要求。2024年6月に人事院が3年目公募をやめる通知を発出しました。

男女賃金格差是正 に向けた取り組みを

国家公務員の賃金は、男性・常勤職員100に対し、女性・非常勤職員はわずか37で、民間より大きな格差があると告発。2022年から始まった「男女の賃金の差異」の公表について、同じ雇用形態間の賃金だけでなく、男性・正規労働者を100とした場合の女性・非正規労働者の割合の公表、原因分析と是正措置の義務付けを求めました。

「偽装フリーランス」の救済を

フリーランスを労災保険の特別加入制度に追加することについて、不十分だと指摘。実態は労働者なのにフリーランスとして働く「偽装フリーランス」は二重に救済されないとして、「広く労働者と認めて保護する法整備こそ急いでやるべき」と迫りました。

包括的なハラスメント禁止法 の実現を

「ハラスメントは、被害者の尊厳・人格を傷つける人権侵害行為だ」と強調。被害者を救済し、ジェンダー平等を実現するためにも、ILO（国際労働機関）第190号条約の批准とハラスメントを包括的に禁止する法整備が早急に必要だと迫りました。

